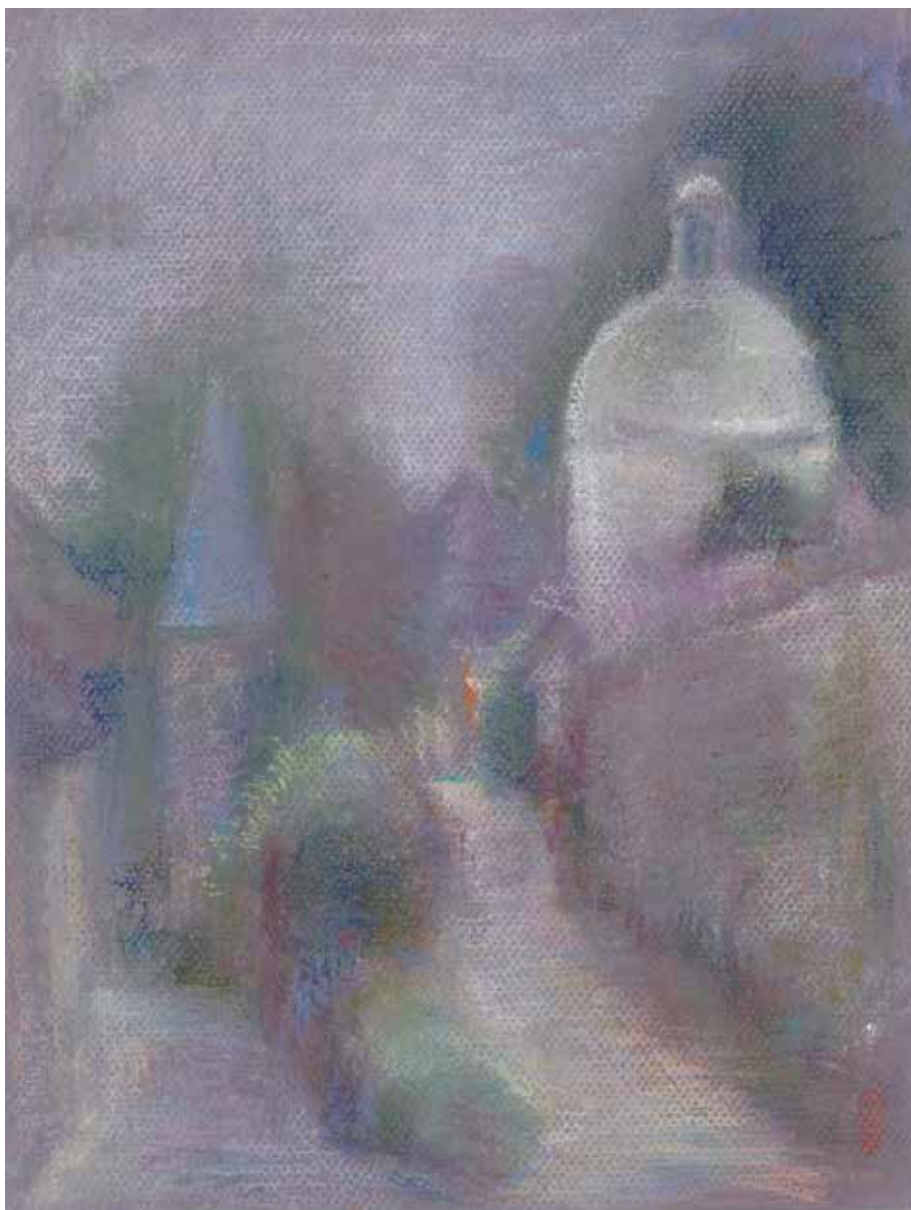


不二

中高版

7

2022



出で
羽わ
百ひ
観ゃ
音っ
かん
の
ん

出羽百観音

署名では姓名を記す

（解説は17ページ）

小久保嶺石先生書

最^も
上^{がみ}
紅^{べに}
花^{ばな}

最上
紅花

署名では姓名を記す

（解説は17ページ）

小久保嶺石先生書

修しゅ験げん
道どう

修道
験

署名では姓名を記す

（解説は17ページ）

小久保嶺石先生書

かな半紙 (誌友～五段)

課題は段級別です。ご注意ください。

秀歌之體大略

(筆者) 近衛家熙 (一六六七～一七三六・江戸中期の能書家・号は予楽院)

おもひ草葉末に結ぶしら露のたまたまきては手にもたまらず

『金葉和歌集 卷第七 恋部上 416』 源俊賴

(解説は18ページ)

短冊について

鎌倉末期頃より和歌をし
たためる書式として広まり
ました。横約6cm、縦約
36・5cmの大ききで全懷紙
をたてに八等分した大きき
です。短冊には上下があり、
雲・霞形は広いほうが、濃
淡は濃いほうが、着色が異
なる場合には色の濃いほう
が上といったもので、練習
用紙ならば、糊付けされて
いる方が上になります。

書式

伝統的な書式

○短冊の上部を1／3または1／4空け、歌を書き始める。

○墨継ぎは和歌の場合、第一句・三句・五句で行う。

○下部が詰まり過ぎないよう、少し空けるとよいでしょう。

○行間や、字粒にも気をつけ、作品として調和するよう心がけましょう。また最近では、このような伝統的な書式にこだわらず、自由に書くこともあります。

提出用紙―やや薄手の短冊練習用紙。

二つ折にて郵送できるもの。

○出品の際には、必ずバーコード出品券と月別出品券を表面左下に貼付けしてください。裏面には不二教室名、氏名を鉛筆書きしてください。

余白 上部をおよそ1／4 (約9cm) またはおよそ1／3 (約12cm) 空ける



長さ 約36.5cm

幅 約6cm

かな半紙 (四段～初段)

課題は段級別です。ご注意ください。

忘らるる身をば思はずちかひてし人のいのちの惜しくもあるかな

わが身をば思はずちかひてし人のいのちの惜しくもあるかな



署名では姓名を記す

(解説は18ページ)

川島史子先生書

かな半紙（1級～10級）

課題は段級別です。ご注意ください。

さきゆめみし
ゑひもせすん

さきゆめみし
ゑひもせすん

署名では姓名を記す

（解説は19ページ）

安東聖空書「梅雪かな帖」より

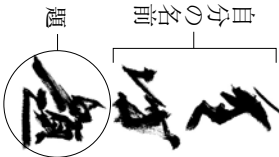
扁額の書をつくる（誌友／初段）課題は段級別です。ご注意ください。

（用紙 画仙紙半切 1/2）石橋 鯉城 先生 書

課題 横額「博覧」



※作品識別のため、作品下部に教室・氏名の鉛筆書きをしてください。



月別出品券とバーコード出品券の貼り方

落款	① 教室名 段氏名 級
②	④ 月別出品券
③	⑤ バーコード出品券



本字

〈用具・用材〉

筆＝1号騰龍（長鋒半毫）

墨＝一味真

紙＝不二

二〇二一年十一月号の課題で「博覧」と合を掲載しました。今月の「博覧」と合をさせて、「博覧強記」という教育や学問尊重の基本態度を示す言葉があります。広く古今東西の書物を読み、その知識を蓄え、見識を豊かにすることを言います。二〇二五年には、大阪市において国際博覧会が開催されます。最先端技術など世界の英知が結集し、また日本の文化が世界に発信される一大イベントです。日本で開催される万博としては二十年以上ぶりですから、中高生の皆さんにとっては初めての国際博覧会ということになります。日本の伝統文化である書道鑑賞の態度も海外に伝えなければなりません。さて、参考手本を見ましょう。行書を以て書かれた「博覧」には、縮墨（磨墨した濃墨を冷蔵庫でゲル状にしたもの）で書いています。墨が滲まず、走らず丁寧にかけるのです。含んだ墨を自然な筆路と墨量の変化を楽しみ、上から下への筆路に時間の経過を感じ取る余裕を持ちましょう。墨を持たせる為には、筆の大きさと墨の濃さなどの研究も大切です。「臣」の縦面を書いて、次に横面を添えて「覧」と三筆で書けるようにしてから「覧」の字の制作にかきたい。

〈解説〉

博覧…広く見聞すること

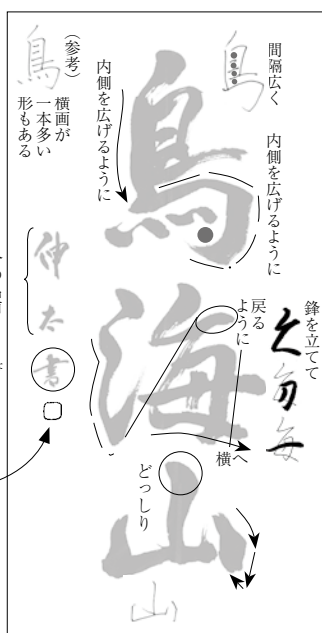
漢字条幅 (1級〜10級) 課題は段級別です。ご注意ください。

小久保嶺石先生書

鳥海山

仲太書

(用紙 画仙紙半折1/2・たて68cm×よこ35cm)



ちようかいさん
鳥海山

〈大意〉 山形県と秋田県の県境にあり、日本海に面した標高2,236メートルの活火山。

またの名を出羽富士とも呼ばれる。

〈解説〉

・行書の基本的な書きぶりを学ぼう。

・半切二分の一という紙の大きさ、〇〇書(〇〇が書いた)という落款の書き方を学ぶ。

※落款…落成款識の略。書画作品を書いた後、署名捺印すること。署名だけ、押印だけを指すこともある。

鳥…3画目の縦画を長く書いている(筆写体による)。筆写体には横画が一画多い形もある。

四つの点がゆったりと入るように下部の内側を広げる。

海…隣の「毎」の1画目は鋒を立てて一気に右下まで。左の斜画と右の斜画は平行にしないで末広がり。

山…1画目の起筆はどっしりと存在感を持たせる。1画目から2画目、3画目と筆脈をつけて流れ良く書く。

〈用具・用材〉

筆Ⅱ永昌条幅

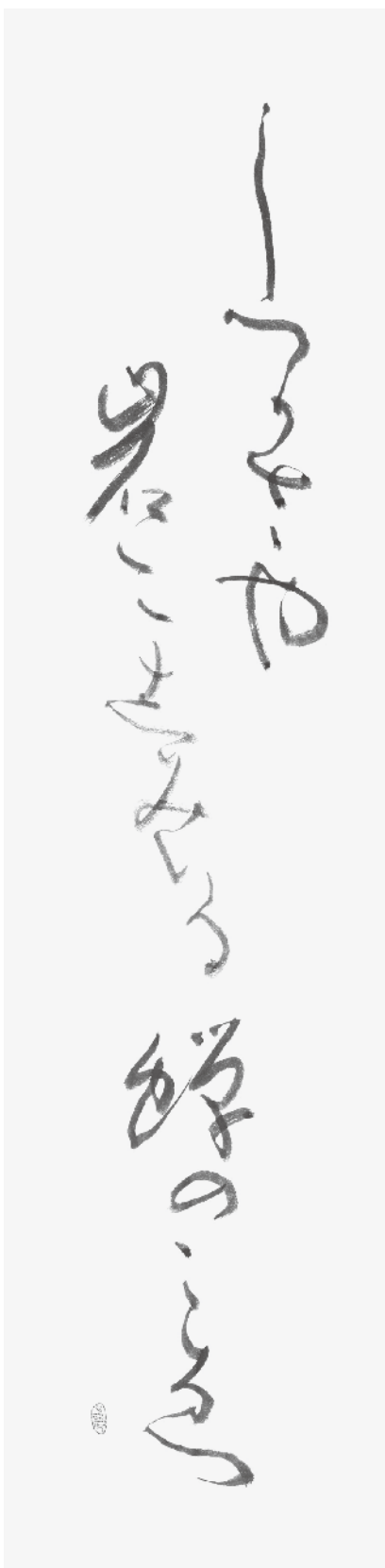
墨Ⅱ和墨

紙Ⅱ中国画仙

※作品識別のため、作品下部に教室・氏名の鉛筆書きをしてください。

かな条幅（誌友10級）

須山万寿先生書



閑^{しづか}さや岩^{いは}にしみ入^{いる}蟬^{せみ}の^{こゑ}声

（用紙 画仙紙半折・たて 136 cm x よこ 35 cm）

《読み》 しづかさや岩にしみいる蟬のこゑ

《作者》 松尾芭蕉（一六四四～一六九四）

伊賀国の生まれ。

《大意》 山形市立石寺^{りつしやでら}において詠んだ句。あたりは静寂そのものである。岩にしみ入るような蟬の声は山寺の静けさを一層深く感じさせる。孤独感を余情としている。

《解説》

○「し」でかな作品を書き始めるのは難しいのですが、今回書き出しを「し」にしました。墨量を控え目にしてすっきりと書いてください。

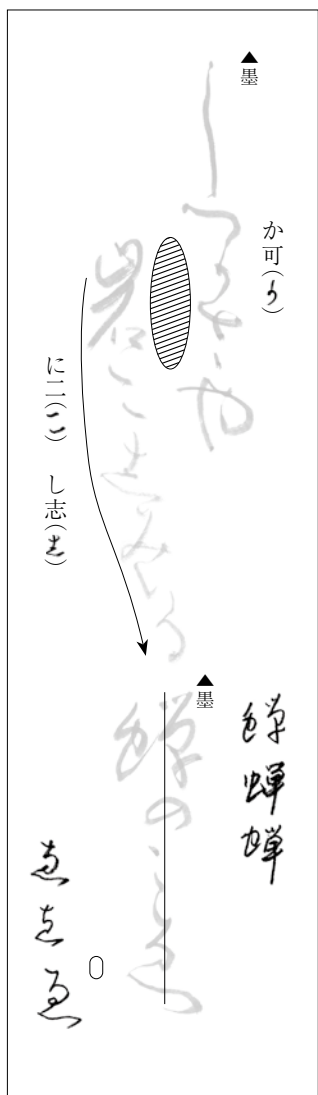
○二行目は行を少しかたむけ、最後の「蟬のこゑ」は真直ぐ下に書きます。

○「蟬」は草書体にしましたが、「蟬」「蟬」としても良いでしょう。

《用具・用材》

筆Ⅱ羊毛筆 墨Ⅱ和墨 紙Ⅱかな用加工紙

※作品識別のため、作品下部に教室・氏名の鉛筆書きをしてください。



新 和 様 (八段、初段)

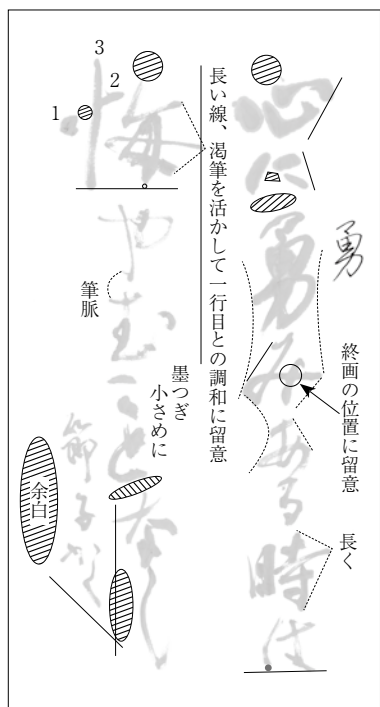
課題は段級別です。ご注意ください。

心に勇みある時は悔やむことなし

永井香樹先生書

(用紙 画仙紙半切1/2・たて68cm×よこ35cm)

※作品識別のため、作品下部に教室・氏名の鉛筆書きをしてください。



心に勇みある時は悔やむことなし

〈大意〉

勇気をもって行えば悔やむこととはない「上杉謙信公家訓十六ヶ条（米沢市上杉神社入り口に碑がある）」より

〈解説〉

○「心」は墨量があるので小振り、横広に。「勇」は長めにして「み」の横画を伸ばし、終画で引き締めましょう。

〈用具・用材〉

○二行目は、一行目の墨量と太さを活かすよう、細線・渴筆を駆使して調和をはかりましょう。
○名前は本文寄りに書き、左に余白を残してまとめましょう。
筆 和筆四号羊毛
墨 和墨
紙 手漉漢字用和画仙

蚕飼^こひする人は古代の姿かな

蚕飼^こひする人は古代の姿かな

(用紙
半紙)

署名では姓名を記す

(解説は19ページ)

石橋鯉城先生書

ペン（八段く初段） 課題は段級別です。ご注意ください。

堀津節子先生書

山形のさくらんぼは、全国の生産量の約七割を占める。見た目の美しさから「赤い宝石」と言われる。

山形のさくらんぼは、全国の生産量の約七割を占める。見た目の美しさ

から「赤い宝石」と言われる。

〈出典〉山形県観光案内より

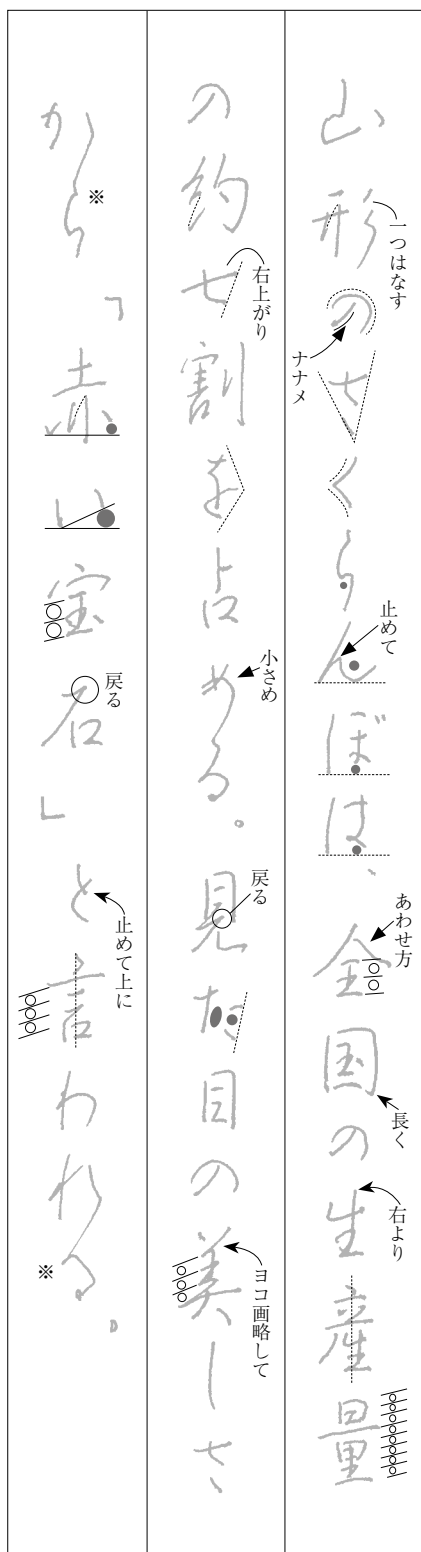
〈用具〉

つけペン、万年筆またはデスクペン、ボールペン インクは黒色（鉛筆は不可）

〈用材〉

不二硬筆用紙3行書き

〈解説〉



上の文字の取筆から※印まで一文字のように続ける

〃 一字書って面白いな〃 — 筆遣いと筆字の表現 — 運筆の極意に迫る

〃 何か、この字への想を込めて書こう〃

(随意課題)
段級に関わりなく出品できます。
評価は天と地になります。

〈平がな一字書〉(参考作品)

(用紙 半紙)

あ(この平がなの原字は「安」の草書形)



安(読み) アン・やす

〈意味〉 やすらかである。値段がやすい。たやすい。たのしむ。置く。いずくぞ。

〈漢字一字書〉(参考作品)

(用紙 半紙)



石橋鯉城先生書

※作品識別のため、作品下部に教室・氏名の鉛筆書きをしてください。

○平仮名の「あ」の原字は「安」でした。活字では、ウ冠^{ウ冠}になっていますが、手書き文字や木版の活字では下の草書の姿で書いていました。筆写体のそれが草書体の「あ」と姿を変えそれが平仮名となるまでには気の遠くなるような時間がかかりました。この間に先人達の途方もない努力があったのです。

○見ての通り、右肩下^しが斜に構えての表現ですが、眺めてホッとした気分になります。1画目の短横画にも、起筆、送筆、収筆があるのが見えますね。2画目の縦画の跳ねに至る画にも3画目の「の」にもそれぞれ起承転結

があります。

○自動車でも型を見れば、軽自動車のホンダ、スズキ、ダイハツやマツダの車だとわかるように、平仮名の姿にも筆遣いと運筆で中身も違ってくるようです。

○安^安墨の含ませ方を考えて、一筆で運筆の遅速緩急の変化を楽しむのが極意。

〈用具・用材〉

筆^筆 蘭^蘭蕊^蕊羊毫 善璉湖筆廠

墨^墨 和墨(顕微無間) 紙^紙 松風

ペン字での10分間練習法 ⑭ (随意課題)

山形市	米沢市	鶴岡市	酒田市	新庄市
寒河江市	上山市	村山市	長井市	天童市
東根市	尾花沢市	南陽市	東村山	郡山辺町
中山町	西村山	郡河北町	西川町	朝日町
大江町	北村山	郡大石田町	最上郡金山町	
最上町	舟形町	真室川町	大蔵村	鮭川村
戸沢村	東置賜郡高畠町	川西町		
西置賜郡小国町	白鷹町	飯豊町		
東田川郡三川町	庄内町	飽海郡遊佐町		
不二		中高	けろ	か

教室名 →

氏名 →

(用紙 原稿用紙20字×10行
ボールペン つけペン 万年筆 デスクペン)

山形県

山形市 やまがたし
米沢市 よねざわし
鶴岡市 つるおかし
酒田市 さかたし
新庄市 しんじょうし
寒河江市 さがえし
上山市 かみのやまし
村山市 むらやまし
長井市 ながいし
天童市 てんどうし
東根市 ひがしねし
尾花沢市 おはなざわし
南陽市 なんようし
東村山郡山辺町 ひがしむらやまのべまち
中山町 にしむらやまぐん かほくちよう
西村山郡河北町 にしかわまち
西川町 さいがわまち
朝日町 あさひまち
大江町 おおえまち
北村山郡大石田町 きたむらやまぐん おおいしだまち
最上郡金山町 最上町 舟形町
真室川町 まむろがわまち
大蔵村 おおくらむら
鮭川村 さけがわむら
戸沢村 とどろむら
東置賜郡高畠町 ひがしおきたまぐん たかはたちまち
川西町 かわにしまち
西置賜郡小国町 にしおきたまぐん おくにまち
白鷹町 しろうたかまち
飯豊町 いいでまち
東田川郡三川町 ひがした がわぐん みかわまち
庄内町 しょうないまち
飽海郡遊佐町 あくみぐん ゆさまち

20字×10行の原稿用紙に書きます。

まずは10分以内で書けるように練習してみましよう。10分書いても、指や手首が疲れないように書くことが大切です。

※どの段級の方でも出品できます。

「月別出品券」及び「バーコード出品券」を添付し出品してください。

課題解説

漢字半紙（詰友〜五段）……………（2ページ）

出羽百観音（でわひゃつがんのん）

（大意）山形県内にある最上、庄内、置賜の3つの三十三観音霊場の総称。（三十三観音：観音様は参拝者の願いに寄り添い、三十三の姿に変身して人々を救うとされていることに因んで、三十三箇所の霊場を巡礼することが古くからおこなわれている。）

（解説）

○基本的な行書の書き方を学ぶ。

○余白を設けて名前まで無理なく収まる文字の大きさ、布置を学ぶ。

出…1画目の起筆を強く。2画目以降は鋒の弾力を使っ
て一筆で。

羽…左側を小さく、右側は大きく。転折部では腋を
開き、行書らしくしなやかな線で。

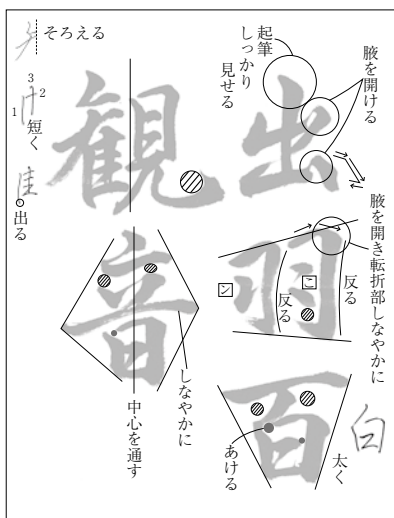
百…1画目で文字幅をつくり、「白」は小ぶりに。画の起
筆が集まるところでは間をあける。

観…偏の中心側は旁に差し障らないように短くして、
「見」が離れない様に。「佳」の画の接し方に注意

音…1画目の点と「日」の中心を合わせる。

（用具・用材）

筆…永昌五号 墨…油煙和墨 紙…松雪



漢字半紙（四段〜初段）……………（3ページ）

最上紅花もがみへばな

（大意）口紅の原料や染物として、また食品にも使われている。「日本農業遺産」に認定された山形県の「最上紅花」の生産、加工技術は、室町時代末期から約450年間、変わらぬ方法で受け継がれている。

（解説）

○書の基本的な書きぶりを学ぶ。

○半紙4字をバランスよく収める。

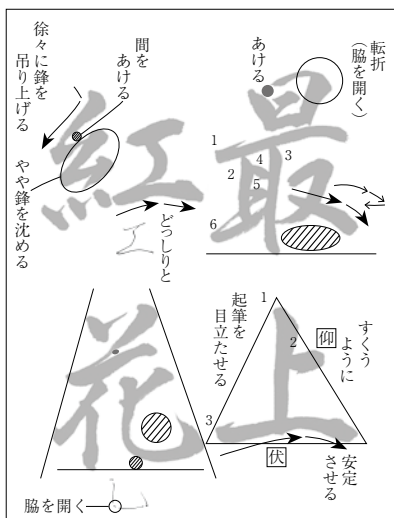
最…「耳」は行書の筆順で脈絡を通す。最終画は筆の方
向を変えながら安定感よく締める。

上…1画目の縦画は体を使って真っ直ぐに。
紅…糸偏の始めの「く」は鋒を引き上げながら運筆す
る。次の「ム」はやや鋒を沈める。隣の「工」は
どっしりと安定感よく。

花…「ソ・一」の草冠は、「ソ」と「一」の間にアキを
作る。「匕」の2画目（浮髯）は腋を開いて方向を
変える。

（用具・用材）

筆…永昌四号 墨…油煙和墨 紙…松雪



漢字半紙（1級〜10級）……………（4ページ）

修験道（しゅげんどう）

（大意）山に籠って厳しい修行をし、大自然や山の神からの力を得、悟りを得て衆生を済度（済はすくう、度はわたす）する修行のことで、修行している行者は山伏、修験者という。

（解説）

○三文字を楷書でバランスよく書く。

○鋒先の位置を確認しながら、きりつとした書線で表現しよう。

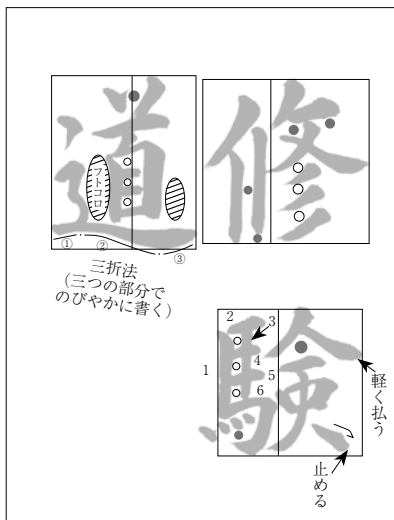
修…人偏、一、夕の組み合わせ。縦画は体を前に傾け、その反動でもじる力を利用するように書こう。「さんづくり」は等間隔に。

験…馬偏と食の組み合わせ。馬偏は細身にし、旁は馬偏とぶつからないようにする。（相譲相避）食の二つの扱いは重複しないよう最終画を止める（減鉤減捺法）。

道…首と之繞の組合せ。フトコロを広くとり、之繞の扱いは三折法で（三つの部分で書く）。

（用具・用材）

筆…永昌四号 墨…油煙和墨 紙…松雪



「秀歌之體大略」

解説 福原溪春先生

おもひ草葉末に結ぶしら露のたまたまきては手にもたまらず

〔読み〕 おもひ草葉末耳結ぶしら露の多万々支て盤手耳もた末ら須

〔大意〕 人を思うという名の思い草の葉先に白露がやつと玉を結ぶように、たま

たまあなたは訪れたが、露の玉が手にも乗らず落ちるように、そつけな

く帰ってしまふところよ。

〔出典〕 金葉和歌集 卷第七 恋部上 416 源 俊賴より（原典では「手にもか

〔解説〕

○ 行の流れを把握して書く。

・ 「末耳」の「耳」、「結ふし」の「し」、「尔も」、「た末ら須」の「末ら」は中心より右寄りに。

○ 墨色の変化に留意する。

・ 渴筆部は墨をしほり出すようなつもりで、ゆっくり運筆する。「末耳」「支て盤」など。

○ 疎密の変化に留意する。

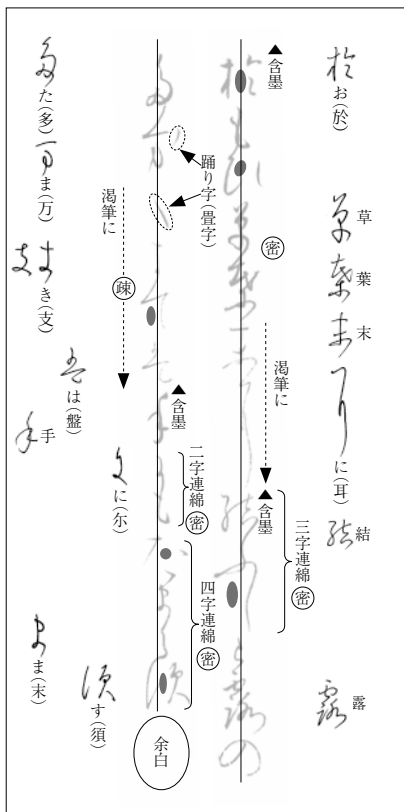
・ 「草葉」「結ふし」「尔も」「た末ら須」は連綿線を短くして密につくる。

○ 変体仮名・漢字の草書（くずし方）を理解してから書く。

・ 「草、葉、結、露、手」の草書など。

○ 「く」は「踊り字」または「暈字」とも言い、くり返しの記号で、ここでは最初の「く」を万にかけている。

○ 5ページの「短冊の書式」を理解して全体の構成を考える。



忘らるる身をば思はずちかひてし人のいのちの惜しくもあるかな

〔読み〕 わ春らるゝ身越八於も者すち可飛て志人のい能遅のをし久もある可奈

〔大意〕 あなたに忘れられる私の身のことは何とも思いません。ただ私への愛を

神にお誓いになったあなたの命が神の怒りに触れて失われるのではない

か、と惜しく思われることです。

〔出典〕 小倉百人一首（拾遺集 卷十四 恋四） 右近

〔解説〕

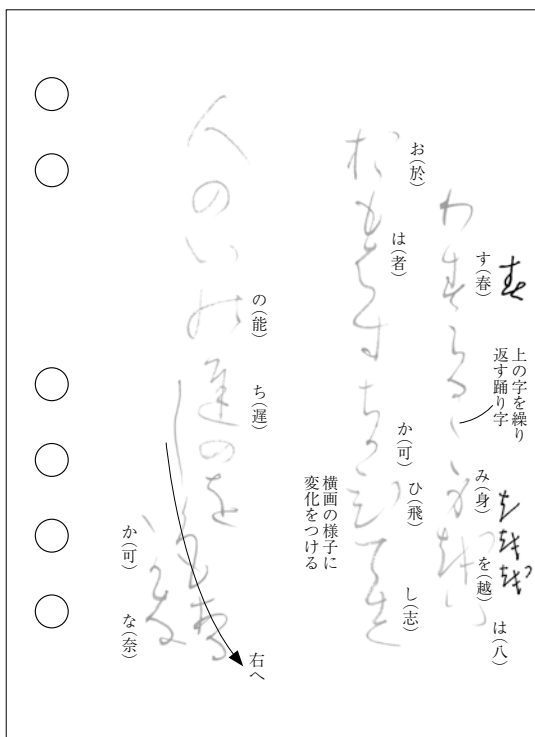
今月は、和歌の最後の位置に変化をつけました。

三行目の渴筆部分は大らかに展開し、含墨した四行目の行脚は右へ寄せて全体をまとめましょう。

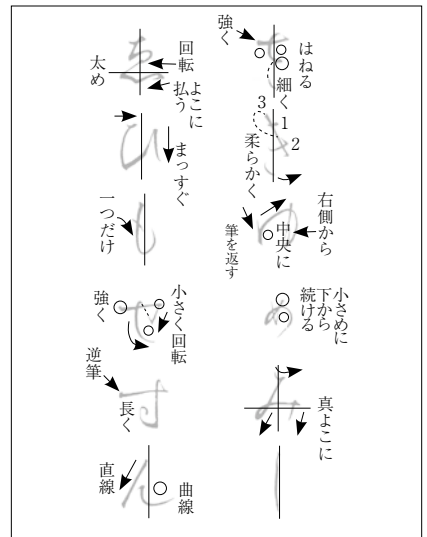
変体がなを多く使っています。書きにくい字は予め書き方を確認しておいて、誤字にならないように正確に書いてください。（む・哉・む・ななど）。

〔用具・用材〕

筆Ⅱかな用小筆 紙Ⅱかな用半紙 墨Ⅱかな用和墨



※左はしには、教室名・氏名を入れます。



かな半紙（1級〜10級）

.....（7ページ）

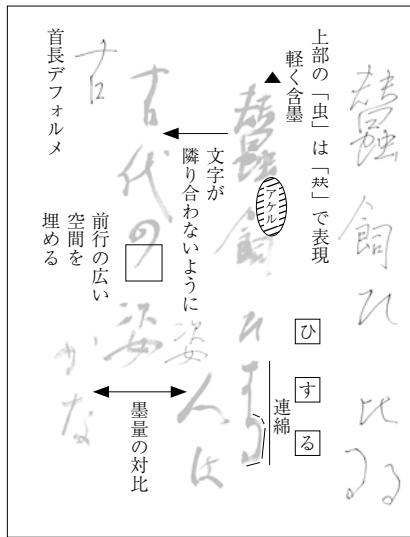
さぎゆめみし

系（恵）ひもせずん

※単体の基本のかな（いろは歌）は、くり返し学習してください。古典学習の基本となります。

新和様（1級〜10級）

.....（12ページ）



蠶飼ひする人は古代の姿かな

〔作者〕

河合曾良（二六四九〜一七一〇）

〔解説〕

蠶は蚕の本字。蚕の筆写体は、蠶のほかに、蚕、蠶、蚕などと自由に書いていた。ここでは夫・夫・虫・虫と書いている。二つの夫と虫は多少形を変えている。「飼」は旁を下に下げて「ひ」につなぐ。渴筆で明るく。「ひ」には字源の「比」（草書の姿）が見えるように。字画の多い「蠶飼」の隣には字画の少ない「古代」、墨量の多い「ひする人は」の隣には、墨量控えて暢びやかに収めたい。

〔用具・用材〕

筆＝超長鋒羊毫筆

墨＝顕微無間 半紙＝松雪

◆8月号課題予告

漢字半紙

誌友／五段 五穀豊穰

四段／初段 養殖漁業

1級／10級 竿燈祭り

かな半紙

誌友／五段 いつでも惜しくやはあらぬ年月を

四段／初段 袂に捨つる夏の暮れかな

1級／10級 ちぎりきなかたみに袖をしぼりつつ

末の松山波こさじとは（清原元輔）

ゐのおくやまけふこえてあ

扁額

誌友／初段 未定

漢字条幅

1級／10級 康楽館

かな条幅

誌友／10級 汐越や鶴はぎぬれて海涼し

新和様

八段／初段 志は気の帥なり

孟子のことば

1級／10級 未定

ペン

八段／初段 大曲の花火は、一九一〇年に諏訪神

社の祭典の余興として開催され百

年以上の歴史を誇ります。

1級／10級

小野小町 樺細工 白神山地

ナマハゲ とんぶり ひめます

※課題は変更になることがあります。